

くろ中にさく聲へくも石を敷く一山の
寺号を立石寺といふ天長宗よりて院室
兼帯なり山内より部十八丁あり寺内
子にる二十石代々將軍家より御朱印を
下す後ふ入しゆ又云とを姓古ハ三石
八十丁の庄屋ありと云ふ状といふ
の端みへくろ同書序文曰出羽州宮上
村山郡有山曰宝珠山立石寺古俗名云
山寺蓋
是天祚奉 清和帝勅貞觀二年所創拜
也云々予按るに三代実録より出羽國

貞觀寺願之定郡といふ山の中事や
古人立石寺ハ一山の寺といふ実録は
載る貞觀寺ハ一山を中後より寺の
号なりや山内を貞觀中の所創といふ
ハ拠ありとも似たりけり大なる定郡の
寺はありといふ何れ地は定郡の寺何
へとも古俗名といふ所といふ法人華嚴
を依る一碑を立永世を記する處とを

一山立石現

山内の中後寺なり東の方に向て石